

## 授業改善等に関する報告書（2022年後期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2022（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
スポーツ栄養学 b	奈良 典子	コメント有難うございます。今後も皆さんが積極的に取り組める内容を検討していきます。
バイオテクノロジー概論	山崎 壮	現在の食糧問題から医療問題、さらには生殖医療や妊娠・避妊、生命倫理問題まで、生命科学とバイオ技術が深く関わっている事項を広くとりあげましたが、理解してもらえたようです。授業で採り上げたテーマに興味を感じてもらえたことが授業最後の皆さんのプレゼンターマから感じられました。しかも、最後にプレゼンを行うことも好評でした。 宿題として、NHKテレビ番組録画やYouTubeの講演会録画を視聴して、動画の概要と感想をまとめてもらうことを行ってもらいましたが、選んだ動画が好評であったのはよかったです。 2021年度の授業アンケートで、望ましい授業実施方法としては、過半数がオンライン授業がよいと回答していました。今年もオンライン授業がよいとの意見がありました。最後のプレゼンをしてもらう回は対面型で行うこととして、それ以外の回は知識伝達型の授業内容なので、オンデマンド型授業がよいのかなど改めて思いました。
ライフステージ栄養学 a	於保 祐子	人のライフステージに即した栄養摂取について、妊娠期から思春期までを学びました。体のしくみと合わせて栄養素の働きや摂取法について基礎的な理解を深めてほしいと思います。後半の成人期から高齢期もしっかりと学んで、実際の暮らしや仕事に応用してゆけるようにいたしましょう。まとめプリントの表示についてはゆっくり見ていただけるようにします。
ライフステージ栄養学実習	高橋 加代子	この授業は、管理栄養士の知識として必要なだけでなく、ご自身やご家族の生活にとっても役立つ内容かと思えます。評価的にも比較的満足していただいているようですので、今後も問題点を改善し、分かりやすい授業を目指したいと思います。
栄養疫学実習	森川 希	※今年度、教員のミスで、アンケート回答をお願いするタイミングを逸してしまい、十分な回答数を得られませんでした。 毎年、「難しい内容だった」との感想コメントを多くいただく科目です。今年度もおそらく同様の感想を持たれたことと思います。論文検索サイトを使ったエビデンス情報の収集や、統計解析手法について、多少なりとも記憶に留めていただき、卒業研究やその後の管理栄養士業務の中で役立てていただければ嬉しく思います。
栄養教育各論 b	辛島 順子	栄養教育各論bでは、主に栄養教育マネジメントとライフステージ別の栄養教育を学びました。 アンケート結果から「対象者の気持ちを考えることや言葉を選択すること等が理解できた」「復習の習慣ができた」等の意見もありました。 3年次の「栄養教育論実習 b」においては、「栄養教育各論 b」で学んだ内容を中心に実習を行います。これらの学びを統合して、病院や保健所で実施する臨地実習でさらに理解を深めていきます。
栄養教育総論	辛島 順子	「栄養教育総論」では、管理栄養士が栄養教育を行うさまざまな場や栄養教育を行うための基礎的な知識や態度、スキルについて学びました。 アンケート結果からは「管理栄養士の仕事について知ることができた」「社会で必要とされる栄養教育について理解が深まった」等の意見がありました。 資料の文字が多い点は、大学の学修として少しずつ慣れていきましょう。 2年次からの専門科目でさらに具体的な内容を学ぶ際に、この科目で学んだ内容を思い出し、より深い学びにつなげてください。
栄養教育論実習 b	辛島 順子	栄養教育論実習bでは、2年次に学修したライフステージに応じた栄養教育について、実際の栄養教育の場面における計画立案や教育の実施・展開をグループワークを通して学びました。 ロールプレイの難易度が高いこと等が挙げられたため、予習やフィードバックで理解度を高められるようにしていきます。
解剖生理学 b	寛 慎治	解剖生理学b（機能的側面を重視）は、解剖生理学a（構造的側面を重視）とのつながりを丁寧に説明することを心掛けて臨床医学の内容を理解する基礎的な力を付けていただけるように講義を行いました。皆さんのアンケートから判断して、概ねその目的に近づくことはできたようですが、講義のわかりやすさや聞き取りやすさでは、至らなかった点がいくつかありました。このフィードバックを考慮して、今後の講義に生かして行きたいと思えます。ありがとうございます。
感染と防御	佐々木 溪円	14回、お疲れさまでした。高校で生物の勉強をしていなかった人や苦手だった人にとって、初年度に設定された授業としてはハードな内容だったと思います。 アンケート結果でもとても心配なことは、授業外の学修時間が少ないことです（回答者の87%が週あたり1時間未満）。この影響もあるのか、残念ながら、平常点を調整しないと単位を取得できない人が過年度よりも「かなり」多かったのが事実です。 2年生になると感染症以外の多くの疾患を勉強し、理系の思考が必要な実験や実習が増えます。特に、D判定の人、「Dと思ったらCだった」という人、この科目が難しいと思った人は、2年生で予習復習を増やさないと授業についていけなくなるのでは・・・と心配になりました。よろしくお願ひします。

【2022（後期）食生活科学科 管理栄養士専攻】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎調理 1	佐藤 幸子	コロナ禍の中、調理実習授業において、iPad画面でのデモンストレーション視聴など、制約を受けた授業運営のなか、皆さんの協力のおかげで無事授業を終えることができました。なかなか思うような調理技術が定着できなかったこともあると思いますが、常に日々努力を重ねてください。調理技術は、重ねた努力により実を結びます。
給食マネジメント実習	山岸 博美	いよいよ校外給食実習です。今までの知識と技術を生かしてください。
給食経営管理 a	山岸 博美	みなさん 引き続きbがあります。 一緒に学んでいきましょう。
公衆栄養学 a	森川 希	授業内容については、「この授業をどれくらいの割合で理解できましたか」の問いに対しては、「十分に理解できた」「ほぼ理解できた」が合わせて半数以上で、例年と同等の結果でした。 教科書を中心に進めた点が好評でした。今年度は、スクリーンの並写が可能で教室だったことから、パワーポイントと並行して他方の書画カメラで教科書や配布資料を提示するスタイルを取り入れました。教科書の該当箇所を示しながら進めることができましたので、次年度以降も継続する予定です。 他方で、国家試験によく出る箇所(大切なところ)をもっと教えてほしかったというコメントをいただきました。頻出事項については、穴埋めプリントや小テストに取り入れたつもりでしたが、今後はより強調していくようにします。 実際の国家試験問題は、各自入手可能ですので(各種参考書や入学時にご案内したeラーニングシステム(ESS)など)、ぜひやってみてください。 気になることがありましたら、ご質問は随時お受けしています。
公衆栄養学実習 a	森川 希	履修者の学習状況、授業内容・方法等は、管理栄養士専攻専門科目区分内で平均的な得点でした。 課題レポートの記述内容と合わせて見てみますと、蓄尿による食塩摂取量の測定や、食事調査、地域の健康増進計画の調査など、実践的な内容については好評でした。「必要な情報を見極める力、課題を発見する力が身についた」といった声がありました。 一方、授業のスピードについてのご意見をいただきました。進行スピードとしては、およそ9割の方が時間内に最低限の作業を終えられるペースを意識しています。例年、進行速度に個人差があるために、早く終わってしまった時間が余ってしまう人、時間内に終わらないため提出期限を長くしてほしい人がいらっしゃいます。各自の裁量で進められよう、できる限りの工夫はしていますが、いろいろな感じ方が出てしまう点は、ある程度はお許しいただきたいと思います。 学生の皆さんのレポートの質は年々向上しています。さらに充実した実習を目指して、授業の内容・進行については見直しを続けてまいります。
公衆衛生学 b	佐々木 溪平	14回お疲れさまでした。資料の改善点をご指摘いただきありがとうございます。座学ではイメージがつきにくい科目だったと思いますが、保健所実習や施設実習の前に復習をしておくとう理解が深まると思います。 授業内で色々な制度を紹介しましたが、行政の制度の多くは「知らなかったら損をする」ものです。国試対策だけでなく卒業後の自分のライフステージで、「使える行政サービスはないか」と調べたり保健センターなどに問合せをすると良いと思います。
食事計画演習	山岸 博美	さらに献立作成スキルを磨いて、給食マネジメント実習に繋げてください。
食事摂取基準論	長谷川 めぐみ	学生諸君の講義評価を真摯に受け止め、講義の内容改善(講義方法、時間配分など)にむけて精進する所存です
食品衛生学 b	大道 公秀	実習があるなかでも、みなさん課題に取り組んでいたと思います。食品衛生のタイムリーな話題提供については好評だったようですので、引き続き継続していきたいとも思いました。みなさんの引き続きの学修の発展を期待します。
食品衛生学実験	大道 公秀	みなさんなりに結果の理由を考えて考察されていたと思います。結果について、その理由は？そしてその理由は？と考え続けていくと、よい探究になっていくようにも思います。引き続きの学修を期待しています。
食品加工学 b	守田 和弘	総合的な満足度が全体平均より高いことから、熱心に取り組んでいただけたものと思います。
食品学 a	奈良 一寛	授業の理解度を向上させるためにも、予習の課題設定について検討していきたい。
食品学実験 a	奈良 一寛	実験を通して、さらに専門性を活かす学びをしたいという意欲がみられるような内容に充実させていきたい。

[2022 (後期) 食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
食品学実験 b	杉山 靖正	一つ一つの実験項目を、みなさんが慎重かつ納得しながら進めている様子が窺え、落ち着いて、よく考えながら本学生実験に取り組めたものと感じています。また、積極的に他のグループの実験結果と比較・議論・考察する姿を見て、これからの成長が楽しみになりました。食品の分析に関することで疑問が生じたら、気軽に質問に来てくださいね。
食品分析学	杉山 靖正	おおむね、みなさん講義内容もしっかり理解でき、他の科目と関連させて深い学習ができたようです。また、本講義を受講して「日本食品標準成分表」の見方（とらえ方）に変化があったとのコメントをいただき、興味を持って受講してもらえたことが窺えました。難しい内容を含むと同時に、他の専門科目にも関連する内容も多いため、食品の分析について疑問に思うことなど生じたら、気軽に質問に来てくださいね。
生化学 b	中村 彰男	今回の定期試験は管理栄養士の国試形式にして出題しましたが、皆さんはよく勉強していてとても嬉しかったです。形式は変わりましたが、普段、毎回の講義後に行っている小テストをもとに問題を作成したので、普段の小テストにきちんと取り組み、解説を良く聞いている方はかなり高得点だったと思います。この「生化学 b」の分野は皆さんが3年後に受験する管理栄養士の国家試験の出題問題としてかなりのウエイトがあります。だから、皆さんに、再三、お話ししたように、ただ知識を詰め込むだけではなくきちんと理解することが得点に繋がります。だから、不幸にして単位を取得できなかった学生さんは再チャレンジして頑張ってくださいと思います。また、講義では理解できない部分や疑問点を講義後や研究室に聞きに来る学生さんのほとんどは高得点を取っています。2年生の実習講義でも理解が難しい部分は積極的に担当教員に聞きに行ってくださいと思います。また、一年生の前期に皆さんに大学の講義はただ教科書を説明するだけの高校の授業とは異なることを話をしました。生化学 b の講義を通して、皆さんは身近な生活や社会に役立つ様な幅広い教養を身につけることができていると思います。大学で学ぶことに関して、皆さんが卒業してから自分の足で自立して生きてくための教養（リベラル・アーツ）を身につけることが最も大切だと思っています。さらに、それぞれの専門分野での専門知識を獲得できれば、大学での私が皆さんに提供できる役目を果たせたいと思います。来年度も皆さんからいただいたアンケートを糧によりよい講義ができるように努めていきたいと思っています。
生化学実験	中村 彰男	後期の半年間お疲れさまでした。実験は難しいと思われた方もいたと思います。しかし、本実験は多くの医療系の大学で皆さんと同じ1年生が行っている実験実習内容なので、ほとんどの学生は頑張って取り組んで良いレポートを提出してくれました。私はとても嬉しかったです。全ての回は実験が始まる一週間前に、実験の目的や詳細なプロトコルを皆さんに提供させていただき、各自で事前の勉強を自主的にして下さったと思います。実験に関しては、皆さんが将来研究者になる方ばかりではないのになぜ実験実習をする必要があるのかと思われた方もいたと思います。これは第1回の実習オリエンテーションで皆さんに話したとおり、皆さんは実験実習を通して、【観察力や洞察力の向上】【実験プロトコルを読み込み実験に挑む事で安全かつスムーズに実験工程を進めるためのマルチタスクを高める】【班員と協力して協働できる力を高める】をことができることがこの実験の1番の目的です。そして、レポートの課題は難しいけど頑張って取り組むことで、自ら考える力がついたと思います。レポート課題の解説をすると皆さん、なんだ簡単じゃないか？と思われたと思います。計算問題も皆さんが苦手とする微分方程式や指数・関数・代数は全く使っていません。小学校4年生で学び終えた四則計算で簡単に解ける課題ばかりであったことが事後の解説を聞いて納得してもらえたと思います。皆さんは物事をとても難しく考えすぎているのだと思います。自分が行った実験を順序立てて振りかえれば、小学校高学年でも溶ける計算でしたね。また、解のない難しい問題にも実験実習を通して取り組むことにより、世の中に出たときに座学で学んだ知識を最大限活かして自分なりの答えを見つけていくという取り組みを少しは苦労して体験していただけたなら私はとても嬉しいです。成績が良かった多くの学生はいつも実験内容や課題に関して私に聞きに来ていました。これからの実習も皆さんは、億劫にならない、遠慮せずに教員を最大限利用して欲しいと思います。この大変だった実験がきっと将来の皆さんのお役に立てると私は信じています。
総合演習 b	奈良 一寛 於保 祐子 中村 彰男	皆さんの4年間の学びの集大成として、過去問の中から今年度の国家試験の出題の傾向と対策を練り、国試対策に繋がる部分を集約して講義を中行いました。皆さんの努力のお陰で今年度の管理栄養士の国家試験は難しかったにもかかわらず、非常に高い合格率となりました。大学の4年間で学んだ教養と専門知識を、是非、自分だけではなく世の中の多くの人達に役立つように活用して下さい。
調理学	中川 裕子	興味深く授業に取り組む姿がみられ、日常生活や実習と関連しながら学んでいた学生がみられてよかった。復習のプリントや動画については今後も取り入れていきたい。授業の進むペースについて意見があったので、今後改善していきたいと思えます。
特別講義 b	杉山 靖正 中川 裕子 大道 公秀	3名の教員による講義で、形式もさまざまでしたが、みなさんよく出席して理解してくれたと思います。これまでの復習ができたと思いますので、国家試験に向けて知識を定着させるよう繰り返し学修してください。

**[2022 (後期) 食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック**

コース名	教員名	教員からのコメント
特別講義 c	辛島 順子 高橋 加代子	特別講義Cでは、これまでの4年間で学んだ内容のうち、栄養食事指導や栄養管理、栄養教育について重点的に学修する内容としました。これらは、今後社会で管理栄養士として活動する上で、職域に関わらず、重要な内容となります。診療報酬や介護報酬をはじめ、管理栄養士に必要なあらゆる知識は、常に更新する必要があります。今後は、自ら新しい知識や情報を習得し、学び続ける姿勢を大切にしていきたいと思います。
特別講義 d	森川 希 奈良 一寛 佐々木 溪円	国試まであと少しですね。覚えていれば点数をとれる分野ですから、一気に追い込みましょう。体調管理にも気をつけて下さい。(佐々木溪円)
臨床医学概論	松島 照彦	授業のスピードが少し早かったようですね。来年はできるだけゆっくりやるようにします。
臨床栄養学 b	松島 照彦	少しスピードが速かったようですね。来年度はゆっくり話せるような内容にします。
臨床栄養学実習 a	松島 照彦 佐々木 溪円	臨床栄養についての理解が深まったようで良かったです。
臨床栄養管理学各論	高橋 加代子	この授業は、病院実習に行くうえで必要な科目になります。内容が多く、説明する際に早口にならないように気をつけてはいましたが、それでもそのように感じる意見があり、工夫をしていきたいと思えます。また、資料はできるだけ多くのものを用意していますので、説明しきれないところがありますが、大学教育ですので授業だけではなく、自己学習でも頑張ってください。期待しています。
臨床栄養管理学各論	高橋 加代子	この授業は、病院実習に行くうえで必要な科目になります。内容が多く、習得するのも大変だと思います。資料の印刷の字が薄かったとのコメントがありましたが、原本は問題ないので、印刷の際に注意するようにします。資料はできるだけ多くのものを用意していますので、説明しきれないところがありますが、大学教育ですので授業だけではなく、自己学習でも頑張ってください。期待しています。